

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：畜産業費 目：畜産振興費

事業名【新】スマート畜産導入支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 畜産振興課 畜産基盤係 電話番号：058-272-1111(内2878)

E-mail： c11437@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 24,000 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	24,000	24,000	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

飼料価格の高騰や、新型コロナウイルス感染症の影響により畜産物相場が不安定になる等、畜産経営を取り巻く情勢が厳しさを増す状況において、より一層生産基盤を強化し、畜産業の生産性の向上を目指す必要がある。

そのような中、先端技術であるスマート畜産については、慣行技術と比較して労働時間が削減されるなど、強い生産基盤の構築に資する一定の効果があるものの、機械費が高くなるなど経営コストが嵩む傾向も見られることから、畜産農家等におけるスマート機械等の共同購入を支援することで、多様な営農条件下において、スマート畜産の普及を推進し、畜産経営の生産性向上を図るものとする。

(2) 事業内容

農業者で組織する団体や農協等が、一括発注によりスマート機械等を導入する取組を支援する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 10 / 10 補助率 1 / 2

(4) 類似事業の有無

畜舎省力化施設整備事業費補助金

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	24,000	スマート機械の導入経費支援
合計	24,000	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（2019-2023年度）
Ⅱ-3-(3)-② 「未来につながる農業づくり」の推進
- ・「ぎふ農業・農村基本計画」（2021-2025年度）
第6章③本格的な人口減少下でのスマート農業の全県展開
- ・岐阜県スマート農業推進計画（2019-2023年度）
重点施策（1）情報集約・発信
- ・岐阜県家畜改良増殖計画（2020年度） I 乳用牛, II 肉用牛

(2) 後年度の財政負担

なし

(3) 事業主体及びその妥当性

農業協同組合連合会、農業協同組合、公社、農業者が組織する団体 等

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	スマート畜産導入支援事業費補助金
補助事業者（団体）	農業協同組合連合会、（一社）岐阜県農畜産公社、農業協同組合、農事組合法人、農業者等の組織する団体等 （理由）国事業実施要領による
補助事業の概要	（目的）スマート畜産の普及を推進し、畜産経営の生産性向上を図るものとする。 （内容）スマート畜産技術を導入して、作業の省力化あるいは効率化を図るための機械装置（スマート機械等）に要する経費の一部について助成する。
補助率・補助単価等	定額・ 定率 ・その他（例：人件費相当額） （内容） ・一括発注タイプ 1/2以内 3経営体以上の一括発注によりスマート機械等を導入 （理由） 国事業実施要領による
補助効果	畜産の生産現場にスマート畜産施設・機器等が普及し、畜産業の省力化が進み、畜産業の魅力が向上する。
終期の設定	終期 令和4年度 国補正予算を活用するものであるため。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 省力化効果や効率的な経営体の構築に資する機械を畜産業者が実際の生産現場で使用できる機会を創出することで、スマート畜産技術の導入・普及を図る。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	
	R元年度末	実績	目標	目標	R4年度末	達成率
①スマート機器の導入農家戸数	30	0	36	39	39	77%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	—	—	—

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	スマート畜産技術の導入・普及が進むことで、畜産経営規模の拡大や高品質生産が進むことから、事業の必要性が高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 スマート畜産技術の導入・普及を促進するためには、技術導入の効果やメリットについての理解促進を図る必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県畜産業の抱える課題解決のために、スマート畜産が大きな役割を担っていることから、今後も継続して、スマート畜産技術の県内への導入・普及を図っていく必要がある。
--